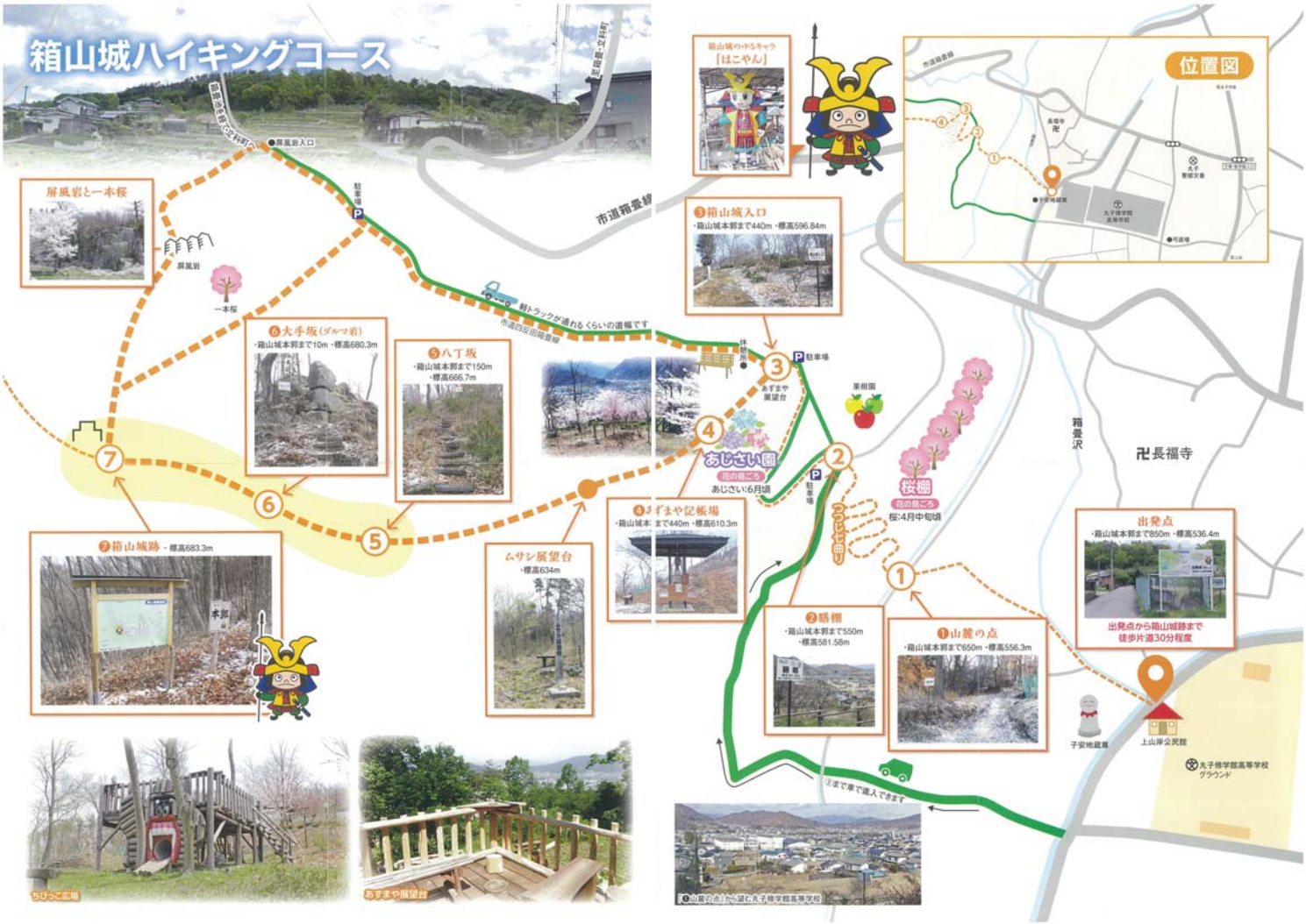
箱山城ハイキングコース



箱山城のゆるキャラ
「はこやん」

❺箱山城入口
・箱山城本郭まで440m ・標高596.84m

上田市わがまち魅力アップ応援事業

箱山城物語

Hakoyama Castle Story

箱山城桜ロードの会

箱山城跡のお話

箱山城は上田市中丸子字箱山に築かれた山城です。この山城は依田氏の分族箱山判官盾正という豪族が、1430年頃、主に佐久方面に備え築いたといわれています。お城は里山の稜線沿いに東西250m、南北に30mの大きさで築かれています。本郭の標高は683.3mの高さです。南斜面の断崖を巧みに利用したお城の造りは、本郭、二ノ郭、三ノ郭の備えの関にお城を守る堀切といわれる空堀を7条設け、斜面を下る3条は竪堀となっています。これらは比較的良好に残されています。本郭への通のりは、稜線に沿ってここから400mです。

箱山城縄張図

医学研プラス発行の「歴史群像」という雑誌の2016年4月号において丸子城が紹介されており、この中で箱山城についての記述がありま。(抜粋、要約)

「天正13年(1585年)の第一次上田合戦当時には、箱山城も丸子城の支城として改修され、徳川軍を牽制する役割で利用された可能性があると紹介されています。

さらに、「徳川軍の連絡線を脅かす箱山城」の見出しで始まる文章は次のように書かれています。

「箱山城は、丸子城から依田川を挟んだ北東約2kmの尾根上に築かれた小規模な山城である。尾根上ピークの先端に主郭(本郭)を置き、尾根続きに二ノ郭・三ノ郭を連なる縄張である。縄張は土塁と空堀によって防御されている。三ノ郭の東側には三重の堀切が設けられ、高くなる尾根続きからの敵襲を厳重に遮断している。この三重堀切の北側は連続竪堀となり、その末端は収斂して斜面の横移動を強固に阻止する態勢がとられる。

箱山城の南下の谷には、東側の山塊を越える街道が通っており、この街道は峠を越えて南下し、芦田宿で佐久方面に向かう中山道に合流している。ゆえに、この街道は、徳川軍にとってサブの後方連絡線となる可能性があるのだ。そこで、真田氏は、この連絡線を寸断するため、箱山城を改修して利用したと考えられる。

また、この城は依田川右岸にある真田方の城として徳川軍を牽制し、丸子城の側面を防御する役割も与えられていたことも推測される。ただし、城は小規模でごく少数の兵員しか駐屯できないため、敵が本気で攻めてきた場合、即座に丸子城方面へ撤収したと想定される。」

箱山城へのアクセス

所在地:長野県上田市中丸子上山岸
発行:2017年3月
発行者:箱山城桜ロードの会
問い合わせ:丸子地域自治センター 0268-42-1048(産業観光課)

園児

中丸子保育園、わかくさ幼稚園から比較的近いことから、園児の皆さんがお散歩コースとして来てくれます。ちびっこ広場にあるゴリラの遊具は特に人気があります。また、記念植樹として桑伸桜の植樹なども行われましたが、子ども達の成長とともに木々も年々大きく育っています。

小学生

丸子中央小学校から徒歩で30分程度の場所にあることから、児童の皆さんも訪れてくれます。木の名前の表示板の整備も進めており、身近な教材として活用してもらえればと考えています。また、丸子北小学校の通学ルートの一つで箱景方面へ向かう途中に休憩場所として立ち寄ってくれます。安全に歩いていただけるよう道路の草刈りなどもしています。

丸子修学館高校生が協力

丸子修学館高校と近距離に立地していることもあり、里山整備を始めた時から生徒の皆さんにも授業の一環として加わっていただいています。樹木の伐採や遊歩道整備などの作業体験や学校内で案内板の製作をされるなど、先輩から後輩へと引き継がれ連携した取り組みが続いています。

植樹祭

毎年4月下旬に上田市から配布された環境緑化木を計画的に植樹してきました。この植樹に当たっては、箱山城・桜ロードの会が主催、地元中丸子自治会及び中丸子青少年育成会が共催の植樹祭として継続しています。植樹した樹木は会の名の桜をはじめアジサイ、シャクナゲなど一、四季の彩りの変化も感じていただければと思います。

箱山城に咲くやさしい花々